

今日では、行政をはじめ教育・医療を含めたすべての領域で“説明責任”の重要性が強調されている。これに関連して、同意書、セカンド・オピニオン、倫理審査、個人情報保護など、対象者の利益となる方法が実行されている。当事者にとって、わかりやすい説明による理解と安心を得る目的で実施された諸制度は時代の要請でもある。かつて聖域といわれた医療と教育も国民の信頼を得るには至らず、むしろ密室での非合理的行為や独善的な判断が白日にさらされる事件も少なくない。専門職は国民が求めていることが形式的な資料や説明の羅列ではないことに真摯に応えなくてはならない。理学療法士もその数が増えて、魅力的で質の高い人が増える一方で、残念ながら不適切な行為をする者がいる。これを確率論で済ませるのではなく、教育や生涯学習の中で組織として対応する努力を怠ってはならないであろう。

専門職は、良心と法律ならびに専門の知識と技術を十分に理解したうえで、対象者の立場に立った判断と適用には一定の裁量が与えられている。越権や独善は厳に慎まなければならないが、裁量権を放棄したマニュアルの遂行のみでは専門職の存在意義はない。最近ではエビデンスに基づく医療の展開が求められているが、これはガイドラインを遵守することではない。あくまでも、最善のエビデンスを目の前の対象者に思慮深く適用する過程であり、その臨床判断能力こそが専門職に期待されているものである。かつて、“私がルールブックだ”といった審判がいたが、1つの判断をするに責任をもち併せて判断を避けることがあってはならないと感じる。

一般的に入院中の対象者は、治療の緊急度とリスクが高く、濃密なケアが必要である。そこでは多くの専門職が関わり、万全の安全管理がなされる。また、同職者同士のカンファレンスや指導体制も整備されていることが多い。それと比べて、外来や在宅では多くの課題を抱えているにもかかわらず、その場の判断は社会生活を含めて多岐にわたる。一見些細なことに思えても、その場で必要な判断を次々と1人で行うことは、まさに臨床能力を問われる場面である。かつて勤めた大学病院のある診療科の教授は、外来をもたせてもらえるようになったら、一定の臨床能力と信頼を得た証であるといわれていた。私自身も、最初は免除されていた外来新患を担当することになった日を、格別の思いで迎えたことを鮮明に覚えている。任せたということは、自分で判断することと相談することを区別できるようになったということで、すべてを自分で解決できるとは思わないようにと指導されたことも記憶に新しい。また、不安があることは大きな誤りをしない1つの要因になることも教えられた。

日常生活と常に接する外来・通所理学療法は、まさに第一線の現場であり、専門職が総合的な能力を発揮できる場でもある。道具はなくても知恵と手段を駆使して問題を解決していくことは、専門職に求められている期待であろう。

(内山 靖)

理学療法ジャーナル

(第41巻 第10号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2007年10月15日発行(毎月1回15日発行) ☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当: 松田・吉永・鹿嶋・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

{ 2007 年年きめ予約購読料 20,880 円
(全 12 号、配送料弊社負担) }

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

振替口座 00170-9-96693 番

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
仲 貴 子
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里